

# 出資の受け入れについて

2021年4月30日

本日、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から、支援に伴う出資 300 億円を受け入れましたので、お知らせします。

このような支援を受けることに深く感謝するとともに、今回の支援を有効活用し経営改善に取り組んでまいります。

## 1 省力化・省人化に資する支援について

日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律が改正され、当社に対する支援の一環として、令和3年度より「生産性の向上に資する施設等の整備及び管理に必要な資金」を出資により受けることが可能となりました（法律附則第5条第1項第2号）。

## 2 出資の受け入れについて

これを受け調整を進めてまいりましたが、本日4月30日付で、当社の株式を100%保有している独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から、出資300億円を受け入れました。

(出資の受け入れ前)

[資産]	[負債]
	[純資産]
	資本金 90 億円
	資本準備金 1,534 億円



(出資の受け入れ後)

[資産]	[負債]
	[純資産]
	資本金 90 億円
	資本準備金 1,834 億円

## 3 支援の有効活用について

今回受けた支援につきましては、車両の新製、販売機器の見直し、業務システムの見直しなど、令和5年度までの「中期経営計画」で計画しているシステムチェンジを進めるために有効活用してまいります。

(参考) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構について

平成15年10月設立。鉄道の建設や、鉄道事業者、海上運送事業者などによる運輸施設の整備を促進するための助成などの支援を行うことを通じて、大量輸送機関を基幹とする輸送体系の確立などを図ることを目的としています。